

特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4 Tel 0547-34-3370 Fax 0547-34-3371



イマジン通信

Vol.29

平成20年度 イマジン総会

理事長 澤島直通

秋風が吹いてはいますが、夏が戻ってきたような残暑の日々が続きます。イマジンスタッフ一同、真っ黒になり暑い夏を全力で駆け抜けたところですが、皆さんはいかがお過ごしですか？秋が来て、運動会や旅行などの行事がたくさんあり、忙しい日々を送られている事と思います。報告が大変遅くなりましたが、5/24(土)に平成20年度イマジン総会を開催しました。当日は多くの会員の皆様に加え、志太榛原圏域の支援センターや施設を始めとする事業所の皆さんにもご出席をいただきまして、イマジンの昨年度の報告と今年度の計画の承認をしていただきました。毎年度ごとに事業が拡大し、事業内容・規模の拡大と従業員の増員が行われ、事業所色が強くなってきているのが実感できる内容でした。質問事項も事業運営に関わる質問も多く出して頂きました。後半は、4月からスタートしましたGHCH「つつい雨やどり」の紹介をさせていただき、GHCHの生活での目的、課題、疑問などを共有することができました。何よりも、入居された9名の方々が笑顔で楽しく生活している事が出席して頂いたみなさんに伝わり、GHCHへの理解が深まった事と思います。

今年度の総会は、本来の理念に基づきながら事業化を図るイマジンの決意表明の場であり、会員の皆様のご意見・ご要望をいかに継続した支援(制度に則った支援)として実現するか？イマジンが活動団体から事業所としての責任と期待を寄せられていることを再確認する場であったと感じます。「ますます頑張らねば！」と気持ちが入る良い総会でした。ありがとうございます。



夏を乗り越えて

イマジンのヘルパー事業は、障害者自立支援法の「居宅介護」「行動援護」、各市町が行っている「移動支援」にイマジン独自の「タイムケア」を加えた4つのサービスを行なっています。毎年の事ですが、夏を迎えるたびに利用者が増えていきます。今年は、行動援護の事業所として支援を求められる機会が多くなりました。移動支援については、ついに焼津市と大井川町との契約を行い、志太榛原圏域の5市3町への支援を行なうようになりました。利用者の増大、サービス提供範囲の拡大がイマジンの体制の見直し、スタッフの増員・スキルアップを余儀なくしています。いつまでたっても楽にならないヘルパー事業というのが本音ですが、それだけ地域で生活していくのに必要な支援であり、まだまだ利用している方が少ない事の表れだと思います。また、利用者である当事者のニーズに答えられる事業所が少ない事の表れでもあります。イマジンとしては、これからも支援を続けさせて頂くためにも今まで以上に質の高い支援が行えるように尽力していきたいと思います。夏を乗り越えて更に熱くなるスタッフ一同です。

“つつい雨やどり”の生活 ①

つつい雨やどりが開所して、5ヶ月が経ちました。手探りで始まった9人での生活も6月からは10人になり、すっかり軌道に乗って各自がそれぞれの生活を楽しんでいます。最初は様子を伺って大人しくしていた方も、今ではすっかり馴染んで自分らしさを発揮！入居者同士の関係も深まり、声を掛け合って会話を楽しんだり、苦手な部分には自然と手を差し伸べる姿が見られるようになりました。スタッフも舌を巻くほど賑やかに毎日が過ぎていきます。

つつい雨やどりがスタートして“生活とは小さな出来事の積み重ねであり、日々継続しているものなのだ”と強く実感しました。これはとても当たり前前の事ですが、ヘルパーとして生活の極一部分だけを支援していた私たちにとって、大きな課題となりました。日々スタッフが変化する中で、生活の流れを止めずに支援を行うためにはどうしたら良いのか？日々起こる小さな出来事を見逃さず、その後の支援に繋げていくにはどうしたら良いのか？集団の中でも個々の生活を大切にしながら、それぞれのペースに合わせた支援を行うにはどうしたら良いのか？支援者間で情報や意識を共有しながら、入居者全ての方が、自分らしく・穏やかに・自分たちの望む生活が送れるよう、試行錯誤しています。

しかし、大きな課題にぶつかります。皆さんもご存知の通り、GHCHは夕方から翌朝までの住居支援の場所です。日々の生活への支援の難しさを感じる以上に、休日の日中や緊急時への対応が難しいのが現実です。この課題をクリアしていこうと、様々な方法を考えました。現在は、ヘルパー事業所や支援センターと連携しながら、ヘルパーの利用・タイムケアの利用・ボランティアの協力などを組み込んだ月間予定を作成しています。GHCHでは支援を行えない部分に他のサービスを組み込む事で“支援の流れを止めないようにしよう”と考えました。同じ法人内に居宅介護事業所（移動支援事業所）と支援センターを持つイマジンだからこそできる、支援の繋がりのないのかもしれない。この繋がりが、止まる事のない生活を支える事が出来るのではないかと考えています。同時にGHCHでの生活は計画を立てないと支援が行えない現実も浮き彫りになってきました。課題が課題を生んでいます。入居者が楽しく、安全に暮らすことと、支援の方法・量、施設側の管理下にありながらプライベートな時間を持てるのか…考えさせられることばかりです。

これらのことに解決の兆しを与えてくれる場として、つつい雨やどりでは、月に1回入居者による自治会を行っています。入居者同士、または入居者とスタッフが意見を交換し合いながら、より良い生活環境作りを目指しています。「掃除当番を決めてみんなで分担したらどう？当番表を作って！」「僕が手伝うからいいよ」「みんなと遊びに行ったり、外食に行ったりしたい！」「～が食べたい」そんな意見が出る度に、つつい雨やどりでの生活がみんなの暮らしになってきている事を実感し、とても嬉しく思います。そして、支援者ばかりが肩に力を入れてもダメだ！みんなの生活だから時間をかけてみんなで考えながら、つつい雨やどりでの生活を作り上げていきたいと思わせてくれます。

ここまで入居者の方々の生活についてお話してきましたが、入居して生活が変わったのは入居者の方々だけではなくありません。入居者のご家族の生活も大きく変わっています。入居後のご家族の様子、感想、心境の変化などについては次号にてお伝えします。

これまでもGHCHの重要性・必要性は多くの場面で耳にしてきました。つつい雨やどりがスタートし、入居者の方々が力強く生活しているのを目の当たりにして、それを心から実感しています。入居者の方々がどんな生活をしているのか、どんな表情で生活しているのか、是非覗きにきて下さい。お待ちしております。～す。（担当 北川）



金谷 茶まつり



食事の時間

“ホップ” から “ステップ” へ = イマジンデイサービス報告 =

5月から8月にかけてのデイサービスは、これからのデイサービス事業への課題を示してくれた時期だったと思います。1回1回を振り返ると、正にみんなの笑顔に助けられながらスタッフが色々と教えられた事ばかりでした。そのなかでも特に考えさせられた事は、“デイサービスの多様化”についてです。というのは、今年度に入ってからのデイサービスの参加者が大きく分けて2つのグループに分かれるからです。



金谷 童子沢道中

まず1つめのグループは、デイサービス事業が始まった当初から、毎回のように参加してくれている方々です。特に成人の方が多く、彼らにとっては、デイサービスが月に1回の余暇の外出の場、気の知れた仲間に出会え、安心できる時間になっているように思います。2つめのグループは、イマジンの事業範囲や知名度の拡大に伴って増加している新規の参加者です。このグループには児童が多く、これから仲間たちと一緒に、様々な経験をたくさん積んでいってほしいなと思っています。



御前崎 ぶるる

そのように考えると“今までのようなやり方で良いのか?”という1つの疑問にぶつかります。もちろん前者のようにデイサービスを安心できる時間、場所にしてきている人から、それを取り上げたくありません。しかし、今までのような大勢の仲間と外出をするという機会に加えて、より具体的な目的(感覚や感触を楽しむ、小グループでのんびりと濃密な時間を過ごす、同じ趣味・好きなもの・楽しみの者同士だけの活動…)を持った活動を取り入れたいとも思います。これらの思いを実現するために、これからは、回数や内容の見直し・充実の必要があります。

その為には、まずボランティアスタッフを確保しなければなりません。というのは、スタッフの増員・充実を図りたい一方で、負担の少ない参加費で行っていききたいという相反する課題があります。人件費のかかるスタッフだけに頼ることのできないのが現実です。現在は数名、定期的に協力してくださるボランティアの方々がいます。その方々は、私たちの活動を理解し、積極的に参加してくれ、本当に、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。私たちが感じているこの気持ち以上に何かを感じ、何かを得てくださってほしいと願っていますが、この感謝の気持ちを未だ「ありがとうございます」の言葉以外では表せずにあります。これからは、今まで以上に多くの人々に広くイマジンの活動を知ってもらい、いっしょに活動してくれる仲間を増やしていきたいと思っています。



大井川花火大会

イマジンの設立とともに始まったデイサービスも早6年。そろそろ“ホップ”を終え、“ステップ”へ移る時が来たようです。その“ステップ”をどこに踏むか?また皆さんの意見や要望を聞かせていただき、参加者の笑顔の中から模索していきたくと思います。これからも楽しい活動へ参加してくださいね。(担当 古木)



相良 小堤山公園道中



にっこり♪



たまらない〜!

ぜひ、お越してください ～ サロン活動 ～



これまでの活動が評価され、会場を貸してくださっている特別養護老人ホームあすかと4月からは合同主催という形をとることになり、今まで以上に計画的にサロン活動を実施してきました。

4/20、5/18、8/17は『みんなでお話しましょう』の日で、手作りのケーキやコーヒーをいただきながら談笑したり、情報交換をしたりしました。6/15は、磐田市在住の視覚障害のギタリストである永田雅紹さんをお招きして、『日なたぼっこのコンサート』を開催しました。障害当事者、あすかの入居者、一般の人、総勢50名がコンサートを楽しみました。永田さんは、NHKのみんなの歌の曲を作詞・作曲されたこともあります。この日はオリジナルの視覚障害の状況や心情を歌った曲を披露してくださり、聴く人の心に深くしみわたりました。その他にも『上を向いて歩こう』『早春賦』『アンパンマンの歌』など、日頃から耳にするなじみのある曲も次々に演奏してくださり、会場は一緒に歌ったり手拍子をしたり大いに盛り上がりました。7/20は、ハローワーク島田の長谷川日出男さんをお招きし、【障害者の就業に対しての心構え】をテーマにお話していただきました。障害者の仕事の状況や、島田市では障害者が何人働いているかなどを知ることができました。

サロンという場が“ふれあい”“交流”という場から“みんなで楽しむ”“目的のある活動”という参加者の地域生活に少し近づいた展開を見せ始めているのがとてもうれしいです。これからも楽しいおしゃべりの場として、情報提供の場として、ますます充実していきますよ～♪みなさんも気軽にお越してください。(担当 高橋)



平成20年度の会員になっていただきありがとうございます。

日ごろからイマジンの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今年度も多くの方に正会員になっていただいております。紙面の関係上、今通信にて会員の皆様をご紹介することができませんでした。大変申し訳ありません。次号にて必ずご紹介させていただきますのでよろしくお願いします。

また、年会費の受付は常時行なっています。新規の会員も継続の会員も大歓迎です。年会費はイマジンまでお持ちになっても下記口座まで振り込まれても結構です。イマジンの活動に引き続きご協力・ご支援をお願い致します。

振込先 静岡銀行 島田支店 普通 0606771
特定非営利活動法人イマジン 理事 澤島 直通

お知らせ

◆◆ アルミ缶を集めています ◆◆

暑い夏が過ぎて、たくさんのアルミ缶が皆さんのお宅やご近所に溜まっていませんか？捨てられるのを待っているだけではもったいない。つついのメンバーが余暇の活動としてアルミ缶つぶしをしています。1個でもOKです。お気軽にお電話でご連絡ください。取りにお伺いします。持ってきてくださる方大歓迎です。皆様のご協力をお願いします。



連絡先 特定非営利活動法人 イマジン

〒427-0026 静岡県島田市扇町13-4

TEL 0547-34-3370

FAX 0547-34-3371

e-mail imagine@za.tnc.ne.jp

URL <http://www3.tokai.or.jp/imagine/>